大島紬着付け教室の様子が新聞で紹介されました！

奄美新聞 11 月 6 日（土）

大島紬は，フランスのゴブラン織，ペルシャ絨毯と並んで正解三大織物と言われています。

また結城袖，塩沢袖と並んで日本三大紬としても知られています。

男子生徒「思っていたより簡単」女子生徒「一人でやるのは大変」

住用中で大島紬着付け教室

奄美市立住用中学校（原崎正校長、生徒10人）で10月28日、「大島紬着付け教室」が開かれました。同校が開催依頼した本場奄美大島紬産地青年協議会が「本場奄美大島紬協同組合青年部」に講師派遣を依頼し、黒田崇則さんが男子生徒4人の着付け、桜千晶さんが女子生徒6人の着付けを担当しました。終了後、講義があり、大島紬の製造工程などを学びました。

男子生徒の着付け教室では、①長じゅばんを羽織り、腰ひもで止める。えりをしっかり固めるの大島紬の着物を羽織り、腰ひもを巻く。その上にバンドを巻き、さらに帯を巻く―などの手順を学びました。2回目の着付け体験本番では、男子生徒は1回目の手順を思い出しながら自分で着付けをし、分からないところは黒田さんの指導を受けながら体験していました。

着付け終了後、生徒は校舎外に移動し、ソテツなどが植えられた場所で記念写真撮影に臨みました。女子生徒5人は「見返り美人」のポーズで写真撮影する場面もありました。

盛島広翔くん（2年）は「大島紬の着付けは初めての体験。思っていたより簡単でやりやすかった。着心地は、けっこう涼しくていい感じ」と話し、澤華楓さん（3年）は「紬の着付け体験は初めて。一人でやるのは大変だった。着心地は、重いイメージだった」と感想を話しました。

住用中学校で開かれた「大島紬着付け教室」。生徒９人が体験